

# ご近所の お医者さん

  
481  

茂松整形外科院長 茂松茂人さん 一茨木市

## 広がるAIやICT

昨年発表された厚生労働省の2017年簡易生命表によると、男性の平均寿命は81・09歳、女性は87・26歳でした。元氣な高齢者が増え、「人生100年時代」は目前です。70歳、80歳などはま

だまだひよっこ。

とはい

え、肉体的には衰えも出てくるでしょう。そんな皆さんを救うと期待されるのが、人工知能(AI)搭載のロボットやICT(情報通信技術)、再生医療。コンピューターがオーダー

## 人と人のつながり大切

な「新年の初夢」といったところでしようか。

AIやICTなどの技術は現に医療分野への導入が進んでいます。医療機関同士や介護・福祉事業者との連携がスムーズになり、患者さんの健康管理にも大いに役立っています。早期発見や新たな治療の開発にもつながっており、日々診療に携わる医療者としては心強くも思います。

しかし、これが国や経済界が主導す

るビジネスに特化したものならどうでしょう。経済的観点からすれば、お金持ちが優先され、国民全員が「夢の治療」を受けられるとは限りません。現在でも「医療費を適正化する」という名目で、長寿社会を支える国民皆保険制度を脅かす動きもあります。国民が等しく受けられないような医療制度には断固反対しなければなりません。医療は

消費ではなく投資です。健康だから

こそ活力のある社会が生まれ、経済が発展するのではないのでしょうか。経済を優先させるよりも、まずは社会保障を充実させる施策が必要です。さて、「初夢」の話に戻ります。ロボットが診察し、お医者さんが面と向かって治療もしない世界は、本当に幸せでしょうか？ 私は、医療とは人と人との寄り添い、つながりであり、一番大切なことは「心」だと思っています。

(府医師会長)

